

複方靈黃参丸

FUKUHOUREIOUSANGAN

《複方靈黃参丸》は、古来、強壮薬として用いられてきた＜牛黄＞や＜紅参＞をはじめ、精選した 10 種類の動物性及び植物性生薬を成分とした滋養強壮剤です。

⚠ 使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師または薬剤師に相談すること
妊婦または妊娠していると思われる人
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って
医師または薬剤師に相談すること
服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心、胃部不快感

3. 長期連用する場合には、医師または薬剤師に相談すること

効 能

次の場合の滋養強壮：虚弱体質、肉体疲労、病中病後、胃腸虚弱、食欲不振、血色不良、冷え症、発育期

用法・用量

食間または食前に服用すること

年 齢	1回量	服用回数
大人(15才以上)	4丸	1日3回
8～14才	2丸	
8才未満	服用しないこと	

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること

(裏面につづく)

成分

《複方靈黃参丸》は、表面に銀箔をかけた丸剤で、12丸中、次の成分を含みます。

牛黄（ゴオウ）……………10mg
 コウジン乾燥エキス……………300mg

〔紅参3gに相当します〕

当帰（トウキ）末……………180mg
 防風（ボウフウ）末……………180mg
 川芎（センキュウ）末……………180mg
 甘草（カンゾウ）末……………100mg
 芍薬（シャクヤク）末……………300mg
 桂皮（ケイヒ）末……………250mg
 動物胆……………50mg
 鹿茸（ロクジョウ）末……………5mg

添加物として部分アルファー化デンプン、パラベン、グリセリン、ハチミツ、寒梅粉、銀箔を含有します。

＜主な配合生薬について＞

◇牛黄（ゴオウ）：牛の胆嚢中にごくまれに発見される褐色の小球塊で、中国最古の薬物書といわれる『神農本草経』に収載され、強壮生薬として用いられてきました。

◇紅参（コウジン）：『神農本草経』に収載されている薬用人参の根を蒸して乾燥したもので、古くから漢方の要薬として広く用いられてきました。

新陳代謝機能を活発にし、食欲を増進し、からだを丈夫にするはたらきがあります。

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること
- (3) 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4) ビンの中の詰め物は、丸剤の破損を防止するためのものですので、開封後はすてること
- (5) ビンのフタのしめ方が不十分ですと、湿気などの影響で薬が変質する場合がありますので、服用のつどフタをよくしめること
- (6) 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと



製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願いいたします。

救心製薬株式会社 お客様相談室

電話：03-5385-3211（代表）

受付時間：午前8時30分から午後5時まで（土、日、祝祭日を除く）



救心製薬株式会社
 東京都杉並区和田1-21-7